



粒粒辛苦

2009年度
(社)鳥取青年会議所
会報誌 3月号



3月3日 若草学園施設交流事業

因幡

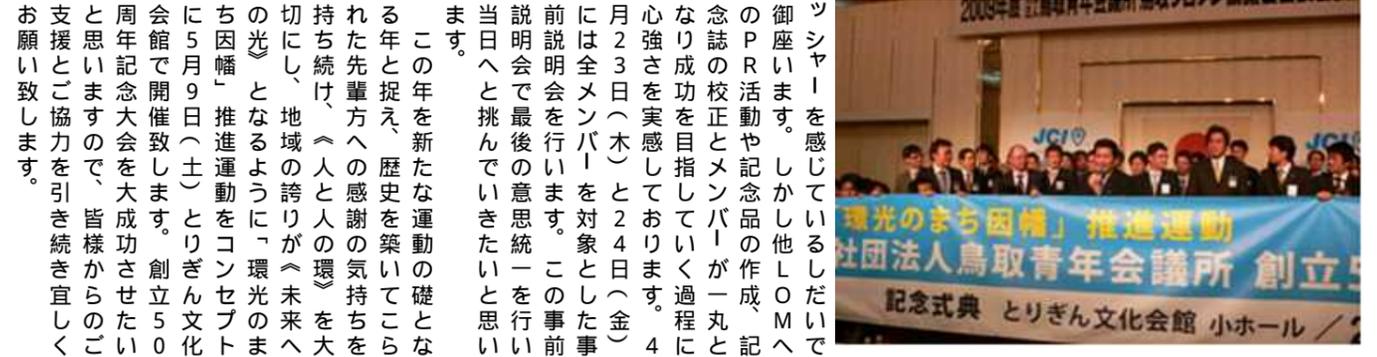
INNOVA [ina:va]
変革



研修会の様子

次に一四名の研修会員の皆さんに二つのグループに分かれて頂き、「清掃活動」というテーマで事業計画書を作成して頂きました。大変、熱の籠った議論をして頂き、その後は各グループの代表者に、それぞれの議案についてのプレゼンテーションをして頂きました。同じテーマで議案を考えても、事業の目的、場所、手法などに少しずつ個性の違いが現れる事を体験して頂きました。その結果を踏まえて各議案を一つにまとめ、全体のリーダー、サブリーダーを決めて頂きました。

第2回研修会を終えて
前期研修会員 宮脇 洋行
第2回研修会で、青年会議所の事業が実施されるまでの流れと社会開発事業を中心として、常に「明るい豊かな社会」を創り上げるための事業を検討するの考え、JC運動の飛躍的発展を遂げたCD5サイクルを学習しました。



「環光のまち因幡」推進運動 社団法人鳥取青年会議所 創立50周年記念式典 とりぎん文化会館 小ホール

◎3月理事会報告
因幡のグリーン政策委員会 委員長 野田祐二
ついに3月理事会で全ての事業系委員会の事業案が上程されました。協議案としては資料が足りなく内容の薄い議案もありましたが、積極的な議論がなされた事で、よい事業へ繋がってゆくのだと思えます。

今ページの詳しい内容につきましては、(社)鳥取青年会議所ホームページ内の会員専用ページをご覧ください。
URL <http://torijc.main.jp>

「環光のまち因幡」推進運動

因幡の豊かな自然環境(ENVIRONMENT)と因幡の特徴を活かした環境保全活動(ECOLOGY)を観光資源として活用し、人と人との環を広めながら「環境」と「経済」が好循環するまちを創る運動です。

編集/発行/印刷：(社)鳥取青年会議所 広報委員会
鳥取市本町3丁目201番地 鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル4階 TEL：0857-24-1638
発行日：2009年3月18日

穀物の一粒一粒は、農民の苦勞と努力の結果実ったものであること。転じて、細かな努力を積み重ねて、たいへんな苦勞をすること。

「今を大切に」
理事長 水野 由久
長い冬が終わり、いよいよ待ちに待った春の到来です。プロ野球選手は冬の間にしっかりとトレーニングをして体を鍛え、キャンプやオープン戦を通して技術を高め、最高のコンディションで開幕を待ちます。この過程を疎かにすれば、良い結果を出すことは困難です。JCも同じだと思います。昨年の予定者段階から綿密なスケジュールを立て、しっかりと準備しておけば、素晴らしい事業を行うことができ、地域社会に大きく寄与する事ができます。更に委員会メンバーは、充実した時間と経験を得ることができ、悔いを残さない為にも今を大切に過ごしましょう。

2009年度 日本JCスローガン
やさしくあるために、つよくなる
愛に満ち溢れたつよいJAYCEEによるアドマイヤー型社会の実現「真日本建国」に向けて

2009年度 鳥取JCスローガン

～ 未来の笑顔は我が責務なり ～
将来の因幡を担う今の子供達が大人になった時に、「因幡に生まれて良かった」と思うことのできるまちを創る責任を負って(社)鳥取青年会議所は活動します。

【粒粒辛苦】りゅうりゅうしんく...こつこつと努力、苦勞を重ねること。「粒粒」は、米の一粒一粒。「辛苦」は、辛く苦しいこと。

